

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

**進捗度について**

- ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。
- 25年度計画値を概ね達成（計画目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%未満）

**27年度に向けての方向性**

- ↗ 拡充 → 現状維持
- ↘ 縮小 × 廃止

第2章 介護保険制度の円滑な運営

(1) 介護保険サービスの質の確保・向上

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容	
						介護相談員 20名 訪問事業所 57か所	人 事業所	24年度	25年度	26年度				
								数値目標	実績	数値目標				実績
4	介護相談員派遣事業の実施	介護相談員派遣事業	市が委嘱した介護相談員が、サービス事業所を訪問して利用者等の相談に応じることにより、その疑問・不安・不満の解消を図るとともに、派遣を受けた事業所におけるサービスの質の向上を図る介護相談員派遣事業を引き続き実施します。	介護保険課	2章1-4 P53			57	57	57	57	57	→	引き続き特養、老健、GHに介護相談員を派遣し、施設サービスの向上に努める。
5	介護保険給付の適正化	給付適正化事業（ケアプラン点検等事業※実地指導・集団指導等を含む）	給付の適正化を図るため、引き続き事業者実地指導に取り組むとともに、介護保険事業者集団指導や住宅改修について施工前・後に現地確認を行うほか、介護給付費通知、居宅介護計画費の点検などを実施します。	介護保険課	2章1-5 P53	事業所数	か所	160	161	160	162	160	→	引き続き給付適正化を図るため、実地指導、ケアプラン点検等を行う。

(4) 介護人材の確保・定着

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容	
						介護職員初任者研修修了者数	人	24年度	25年度	26年度				
								数値目標	実績	数値目標				実績
1	介護職員初任者研修受講者支援事業（旧 ホームヘルパー2級資格取得）	介護職員初任者研修受講者支援事業（旧 ホームヘルパー2級資格取得）	介護職員初任者研修修了後、市内の介護施設等で一定期間就業した場合に、資格取得に要した経費のうち半額（上限50,000円）を助成する制度を実施します。	介護保険課	2章4-1 P55			50	50	100	100	100	→	引き続き、資格養成校、市内の介護施設等へ広報活動を行い、対象者に対し事業を周知することで、さらなる人材確保・定着を図る。
3	介護人材の確保に向けた広報の充実	趣旨普及事業	介護の重要性について理解を深め、魅力ある仕事として認められるよう、市政だよりやホームページなどを活用した広報活動を行います。	介護保険課	2章4-3 P55	「介護の日」標語応募件数	件	50	36	50	56	50	→	介護人材の確保に直接的につながるような広報施策の検討については、国や他自治体の動向を注視するとともに、引き続き、現状の広報活動を行う。

(5) 市民への広報・情報提供の充実

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容	
						「みんなで支え合う介護保険パンフレット」の配布部数	部	24年度	25年度	26年度				
								数値目標	実績	数値目標				実績
1	制度や事業者情報に関する広報の推進	趣旨普及事業	介護保険の制度や仕組みを市民がわかりやすいように解説したパンフレット、市政だより、保険料のしおりなどを作成し、窓口などで配布するとともに、ホームページの掲載情報の充実を図ります。併せて、地域や団体などを対象に、随時、出前講座等を開催するなど介護保険制度に関する広報の充実を努めます。また、事業者情報について、介護保険サービス事業者ガイドブック（ハートページ）や介護保険サービス事業者一覧表などを作成し、窓口などで配布するほか、「介護サービス情報の公表」の内容について、事業者選択等の参考となるよう、ホームページなどで情報提供します。	介護保険課	2章5-1 P56			40,000	40,000	45,000	45,000	45,000	→	引き続き、広報ツールを用いた普及啓発を図るとともに、介護保険課ホームページでの情報提供も積極的に行っていくことを検討する。

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

**進捗度について**

- ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。
- 25年度計画値を概ね達成（計画目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%未満）

**27年度に向けての方向性**

- ↗ 拡充 → 現状維持
- ↘ 縮小 × 廃止

第3章 介護予防の推進  
(1) 一次予防事業

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	次期計画（27～29年度）					
								24年度		25年度		26年度	27年度に向けての方向性	現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容			
								数値目標	実績	数値目標					実績	数値目標	
1	シニア健康づくり教室	シニア健康づくり教室	65歳以上の方を対象に、栄養改善・口腔機能の向上等を図るため、介護予防の知識の普及・啓発に関する介護予防教室を開催します。	健康支援課	3章1-1 62	実施回数	回	378	537	378	471	①保健福祉センター会場だけでなく、地域の組織と連携して実施し、介護予防についての知識の普及啓発を広く開催できた。 ②すでに連携を取り実施している地域にとどまらず、地区活動の中で、高齢者に介護予防の知識を普及できる機会を捉えて開催していく。	→	すでに連携を取り実施している地域にとどまらず、地区活動の中で、高齢者に介護予防の知識を普及できる機会を捉えて開催していく。			
								達成率	142.1%		124.6%						
								進捗度	☆		☆						
								参加人数	人	9,500	8,198				9,500	7,637	9,500
										達成率	86.3%					80.4%	
										進捗度	△					△	
2	シニア健康づくり相談	シニア健康づくり相談	65歳以上の方を対象に、生活機能の低下予防等について、健康・栄養・口腔等の個別相談を行いません。	健康支援課	3章1-2 P62	実施回数	回	528	425	528	345	①健康教育やがん検診、二次予防事業等の他事業に併設して実施するなど、栄養、口腔、運動等介護予防についての相談について個別に対応することができた。 ②関係団体や地区組織等の協力を得ながら、多様化する相談に対応できるよう配慮する。	↗	対象者を限定せず実施するため、元氣アップ相談と統合する。急激な高齢化に伴い、相談も多様化、個別化してきているため、今後も引き続き、関係団体や地区組織等の協力を得ながら、また、各種事業に併設するなどによりタイムリーに、相談に対応できるよう配慮する。			
								達成率	80.5%		65.3%						
								進捗度	△		△						
								参加人数	人	2,580	2,582				2,580	2,116	2,580
										達成率	100.1%					82.0%	
										進捗度	☆					△	
3	脳健康教室	脳健康教室	簡単な読み書き・計算と軽運動を組み合わせた認知症予防の教室を開催します。	高齢福祉課	3章1-3 P62	コース数	コース	6	6	6	6	①全会場で定員を超える応募があり、新規・リピーターともに参加人数が大幅に増となった。 24年度参加実人数 195人 25年度参加実人数 185人 ②引き続き安定した事業運営に努める。	→	介護保険法の改正のため、介護予防の枠組みは大きく変わる予定だが、本事業については参加希望者が多く、世間の『認知症』についての関心も高いため、次期計画においても事業を継続する。			
								達成率	100.0%		100.0%						
								進捗度	☆		☆						
5	健康づくりプロジェクト事業	健康づくりプロジェクト事業	プロサッカーチームやプロ野球チームのトレーナーなどが講師となり、自宅で簡単にできるストレッチや筋力トレーニングなどを実施し、体力づくりのノウハウを提供します。	高齢福祉課	3章1-5 P62	延べ参加者数	人	420	326	420	358	①対象地区を変更することで、介護予防に興味のある高齢者を事業に参加することが出来た。 ②これまで美浜区はロッテの会場として開催していたが、内容が異なることからジェフについても美浜区での教室を開催し、介護予防及び普及啓発に努める。	→	市全体からすると、対象区域も限られ、また、対象者も少ないことなどから、他の介護予防事業との調整を図る必要がある。			
								達成率	77.6%		85.2%						
								進捗度	△		△						
7	地域参加支援事業	地域参加支援事業	地域のボランティアの協力を得て、閉じこもり予防のためのスポーツ・レクリエーションや絵画、工芸等の創作活動を実施します。	健康支援課	3章1-7 P62	会場数	会場	90	75	90	83	①地域の組織と連携し、開催場所を増やし実施することができた。 ②すでに連携を取り実施している地域にとどまらず、地区把握を行い、必要性がある地区がないかを検討していく。	→	本事業が必要な地区については実施が可能か検討し、開催場所を増やしていくとともに、すでに実施している地区については、自主化に向けて支援していく。			
								達成率	83.3%		92.2%						
								進捗度	△		○						
						参加人数	人	4,800	3,208	3,750	3,911				4,075		
								達成率	66.8%		104.3%						
								進捗度	△		☆						
8	介護予防普及啓発事業	介護予防普及啓発事業	「いきいきあんしんプログラム」の愛称を活用しながら、パンフレット等の配布や講演会・相談会を開催し介護予防に関する知識の普及・啓発を行います。	高齢福祉課	3章1-8 P62	参加者数	人	10,000	11,641	10,000	16,869	①担当圏域内で、積極的に介護予防普及啓発活動（講演会・ミニ教室・イベント等）を展開するセンターが増えたが、センター全体で見るとばらつきがみられる。（平成24年度センター委託分講演会・相談会・イベント等開催：1,482回 11,641人、パンフレット配布：10,000部 平成25年度センター委託分講演会・相談会・イベント等開催：765回 16,869人、市高齢福祉課講演会：6回 299人、区民祭り等参加：5回 1,874人、パンフレット配布：10,000部 ②前年度同様、地域活動の中でイベント等の活動を展開し、高齢者が自主的・継続的に介護予防に取り組めるよう支援する。	↗	介護保険法の改正のため、介護予防の枠組みは大きく変わる予定だが、本事業については次期計画においても事業を継続する。			
								達成率	116.4%		168.7%						
								進捗度	☆		☆						
9	地域介護予防活動支援事業	地域介護予防活動支援事業	あんしんケアセンター等において、介護予防ボランティアを育成するため、研修や地域活動組織の育成や支援を行います。	高齢福祉課	3章1-9 P63	開催回数	回	510	676	680	950	①平成24年10月にあんしんケアセンターを12か所増の24か所としたことで、介護予防に資する地域活動組織の把握が進み、組織やボランティア等の人材を育成するなど地域に密着した活動の支援を行うことができた。 ②地域関係機関との連携を図りながら講座等を実施とともに、地区情報の可視化を図り意図的に働きかけていく。	↗	いつまでも高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活していくことが可能になるよう、自助共助の地域づくりにより地域力を高めていく。			
								達成率	132.5%		139.7%						
								進捗度	☆		☆						

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

進捗度について

- ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。
- 25年度計画値を概ね達成（計画目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%未満）

27年度に向けての方向性

- ↗ 拡充
- 現状維持
- ↘ 縮小
- × 廃止

(2) 二次予防事業

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画（27～29年度） 現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
1	二次予防事業対象者把握事業	二次予防事業対象者把握事業	基本チェックリストの結果より、要介護状態等となるおそれが高い高齢者（二次予防事業対象者）を選出し、早期に介護予防事業の参加へつなげます。	高齢福祉課	3章2-1 P63	二次予防事業対象者数	人	14,200	11,850	14,750	11,702	15,203	→	一括送付に関しては継続。しかし、介護保険法の改正に合わせ、発送方法、発送対象者の検討を行う。	
								達成率	83.5%		79.3%				
								進捗度	△		△				
2	元気アップ教室	元気アップ教室	運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防等を図るためのプログラムを提供するとともに、日常生活における実践指導を行う教室を開催します。	健康支援課	3章2-2 P63	実施回数	回	480	391	480	386	480	→	より広い対象者が参加できるよう、事業の見直しを検討する。	
								達成率	81.5%		80.4%				
								進捗度	△		△				
				高齢福祉課	3章2-2 P63	参加人数	人	39.2%		45.0%					
								達成率	39.2%		45.0%				
								進捗度	◇		◇				
高齢福祉課	3章2-2 P63	コース数	コース	58	58	59	59	59	→	介護保険法の改正に合わせ、現在の事業については大幅に見直しをしていく予定である。					
				達成率	100.0%		100.0%								
				進捗度	☆		☆								
3	口腔ケア事業	口腔ケア事業	歯科医院において口腔機能の評価、必要な相談・指導を行います。	健康支援課	3章2-3 P63	口腔ケア事業受診者数	人	—	641	—	737	1,304	→	介護保険法改正にともない、事業内容の見直しを検討する。	
								達成率	—		—				
								進捗度	◇		△				
5	歯っぴー健口教室	歯っぴー健口教室	口腔機能向上を目的に日常生活に取り入れられる口腔ケア・口腔体操等を実施する教室を開催します。	健康支援課	3章2-5 P63	歯っぴー健口教室参加者数	人	—	462	—	456	1,440	↗	教室参加者数を増やすための参加しやすい会場の提供、教室開催日数を含めた内容の見直しをする。	
								達成率	—		—				
								進捗度	△		△				
7	脳健康教室	脳健康教室	簡単な読み書き・計算と軽運動を組み合わせた認知症予防の教室を開催します。	高齢福祉課	3章2-7 P63	コース数	コース	6	6	6	6	6	→	介護保険法の改正のため、介護予防の枠組みは大きく変わる予定だが、本事業については参加希望者が多く、世間の『認知症』についての関心も高いため、次期計画においても事業を継続する	
								達成率	100.0%		100.0%				
								進捗度	☆		☆				
10	訪問指導事業	訪問指導事業	閉じこもり、認知症、うつ等のおそれがある高齢者の居宅を保健師等が訪問して必要な相談・指導を実施します。	健康支援課	3章2-10 P64	件数	件	54	4	54	0	54	↗	対象者は限定せず、閉じこもり、認知症、うつ等のおそれがある高齢者に加え、介護予防の指導のために居宅での生活状況の確認が必要なものも対象とする。	
								達成率	7.4%		0.0%				
								進捗度	◇		◇				

(3) その他事業

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画（27～29年度） 現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
2	機能回復訓練	いきいきプラザ及びいきいきセンター機能回復訓練	いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、リハビリ体操やストレッチ体操を行い、身体機能の低下防止を図ります。	高齢施設課	3章3-2 P64	参加人数	人	13,968	14,346	14,346	15,871	15,871	→	引き続き、いきいきプラザ・いきいきセンターの指定管理業務として、身体機能の低下防止を図るためのリハビリ体操やストレッチ体操の実施を検討する。	
								達成率	102.7%		110.6%				
								進捗度	☆		☆				

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

進捗度について ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。  
 ○ 25年度計画値を概ね達成（計画目標に対する達成率：90%～100%未満）  
 △ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%～90%未満）  
 ◆ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%未満）

27年度に向けての方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

第4章 生涯にわたる健康づくりの推進

(1) 健康づくり活動の推進

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画（27～29年度） 現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
4	食育の推進	食育推進事業	市民一人ひとりが健全な食生活を実践し、生涯にわたって健康で豊かな人間性をはぐくむことができるよう、食育を推進します。	健康支援課	4章1-4 P70	食育のつどい参加者数	人	493	3,175	493	3,567	493	→	第2次千葉県食育推進計画（計画期間：H26～H30）に基づき、引き続き食育を推進する。	
								達成率	644.0%		723.5%				
								進捗度	☆		☆				
5	ヘルスサポーターの養成	健康づくり推進事業 健康運動対策事業（H25～）	家庭や身近な地域の中で、健康づくりを実践する仲間づくりを進める「ヘルスサポーター」を養成します。	健康支援課	4章1-5 P70	実施回数	回	60	60	72	59	72	→	育成したヘルスサポーターが地域の核となり、地区組織単位での活動が活性化されるよう「健康づくり事業」との連動を推進する	
								達成率	100.0%		81.9%				
								進捗度	☆		△				

(2) 生活習慣病・疾病予防対策の推進

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画（27～29年度） 現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
1	がん検診等の推進	がん検診事業	がん等の疾病の早期発見・早期治療を図るため、がん検診・歯周疾患検診・骨粗しょう症検診などを実施します。	健康支援課	4章2-1 P71	受診率	%	50	26.4	50	25.7	50	↗	更なる受診率向上に向け、一日に複数の検診が受診可能となる会場の設定や、検診時の子供見守りを各区保健福祉センターで実施できるよう検討する。	
								達成率	52.8%		51.4%				
								進捗度	△		△				
4	健康教育	健康教育	健康に関する正しい知識の普及を図るため、講演会等の集団健康教育を行うほか、禁煙に関する個別健康教育を実施します。	健康支援課	4章2-4 P71	参加者数	人	-	6,127	-	7,723	6,107	→	・個別健康教育喫煙領域と併せてCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の普及啓発を充実させる。 ・働き世代へのアプローチの難しさはあるものの、生活習慣予防において重要な対象であり、今後も引き続き、機会を捉えた知識の普及を行っていく。	
								達成率	-		-				
								進捗度	-		-				
5	健康相談	健康相談	市民のニーズに応じて、疾病予防や生活習慣の改善など、心身の健康に関する個々の相談に応じ、必要な指導や助言を実施します。	健康支援課	4章2-5 P71	相談件数	人	-	10,025	-	9,896	15,000	→	生活習慣病予防について、住民の健康意識の高まりとともに、情報も氾濫している。今後も引き続き、関係団体や地区組織等の協力を得ながら、多様化する相談に対応できるよう配慮する。	
								達成率	-		-				
								進捗度	-		-				
6	訪問指導	訪問指導	虚弱高齢者や生活習慣の改善が必要な人等に保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士等が訪問し保健指導を実施します。	健康支援課	4章2-6 P71	訪問指導者数	人	-	620	-	605	1,036	→	今後も引き続き、訪問対象者の把握のために、他職種や他機関との連携を強化していく。	
								達成率	-		-				
								進捗度	-		-				
8	感染症予防対策	高齢者予防接種事業	抵抗力が低下しがちな高齢者に対し、感染予防やまん延防止のための正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、高齢者のインフルエンザの発病や重症化を防止するため、引き続き予防接種を実施します。	健康企画課	4章2-8 P71	被接種者数	人	115,084	103,472	116,610	107,841	115,843	→	対象となる高齢者人口が増加するなか、効果的な周知方法を検討し、接種率の向上を図る。	
								達成率	89.9%		92.5%				
								進捗度	△		○				

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

進捗度について ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。  
 ○ 25年度計画値を概ね達成（計画目標に対する達成率：90%～100%未満）  
 △ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%～90%未満）  
 ◆ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%未満）

27年度に向けての方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

(3) 健康づくり体制の整備

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画（27～29年度）		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
1	地域健康づくり支援ネットワークの推進		地域住民と医療機関等との協力のもと、健康づくり情報を共有・普及するとともに、健康づくり活動を実施することで、地域住民の健康への関心を高め、地域の特性に合ったネットワークづくりを進めます。	健康支援課	4章3-1 P72	実施回数	回	12	10	12	10	12	①各区の健康課題や実状にあわせ1回～2回の「地域健康づくり支援連絡会」を実施し、地域の健康づくりについて協議した ②地域の店舗や事業所との連携した事業の推進を図る	→	「地域健康づくり支援連絡会」等のネットワークを活用し、連携事業を推進する
2	プライマリ・ケアの推進	かかりつけ医推進事業	プライマリ・ケアの中心的な役割を担う、かかりつけ医の定着を促進するため、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持つことの必要性に関する普及・啓発や市民が必要とする保健医療サービスの情報提供に努めます。	健康企画課	4章3-2 P72	インターネット版わたしの町のお医者さんアクセス数	件	250,000	282,113	250,000	262,738	250,000	①24年度に比べて25年度の実績は下がったものの、市民の4人に1人以上の割合のアクセス数を達成した。 ②広報などを通じてかかりつけ医を持つことの重要性を普及・啓発する。また、市内医療機関に関する名称、所在地、電話番号、診療科目、診療時間などの情報を更新し、システムにアクセスしてきた者が求める情報を適切に提供する。	→	現状維持を基本としながら、利用者目線で使い勝手の良いソフトとなるよう、必要に応じた改修を行う。
3	在宅医療の充実	訪問歯科診療事業	病院とかかりつけ医など医療機関の役割分担と連携。さらには医療と介護の連携を強化するとともに、在宅療養支援診療所をはじめ、かかりつけ医の機能強化を促進します。 市立青葉病院においては、在宅医療支援病床を活用し、在宅医療の充実に努めます。 また、訪問看護や訪問リハビリテーションなど居宅サービス提供体制の充実を図るとともに、在宅のねたきり高齢者の歯科医療を確保するため、訪問歯科診療事業を実施するほか、かかりつけ薬局による在宅患者訪問薬剤管理指導の促進を図ります。	健康企画課 青葉病院	4章3-3 P72	訪問歯科診療予診実施者数	人	30	26	30	29	30	①24年度から25年度までの2か年で在宅医療推進事業を千葉県医師会に委託し、千葉県在宅医療推進連絡協議会を設置。在宅医療の推進には医療従事者の多職種連携が不可欠であり、その連携の中心にはあんしんケアセンターが適切であるとして、25年度に中央区と稲毛区で、多職種連携会議をモデル事業として実施。出席者からは「他の職種の視点を学ぶことができた」「困ったときに異職種への連絡が取りやすくなった」というアンケート回答を得ることができ、医療介護連携の強化に一定の成果を見た。 訪問歯科診療は概ね目標どりの実績だった。 ②引き続き前年度同様に取り組む。多職種連携会議については、全区で実施し、医療介護連携を推進する。	↗	在宅医療推進事業を継続し、在宅医療にかかわる医療従事者の増加に努める。

第5章 生きがいくりと社会参加の促進

(1) 社会参加活動の充実

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画（27～29年度）		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
1	いきいきプラザ・いきいきセンターの運営	老人福祉センター管理運営費	高齢者が健康で生きがいのある生活が送れるように、健康等の相談に応じたり、健康増進やレクリエーション活動を行うことができる施設で、機能回復訓練、高齢者福祉講座、世代間交流等の事業を行います。	高齢施設課	5章1-1 P78	利用人数	人	585,843	605,820	605,820	600,006	605,820	①いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、健康相談、機能回復訓練、高齢者福祉講座、世代間交流等の事業を実施し、概ね計画を達成した。 ②引き続き、いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、健康相談、機能回復訓練、高齢者福祉講座、世代間交流等の事業を実施する。	→	平成28年度の指定管理更新を踏まえ、事業の見直しや方針等の検討を進める必要がある。
2	老人クラブ育成	老人クラブ育成指導事業	地域に住む高齢者が集まり、レクリエーションや社会奉仕活動を通じながら健康増進や生きがいくりを目指す自主的な組織を育成します。	高齢福祉課	5章1-2 P78	老人クラブ数	クラブ	306	309	304	301	296	①老人クラブ数は、ほぼ横ばいで推移しているが、60歳以上の方の人口に比べ老人クラブに加入する高齢者の割合は減少している。 ②会員数30～50人のクラブにおいて、補助額が一律であり不平等であるとともに、会員数の増減に対してインセンティブが働かないため、補助金の見直しを行い、会員の増加や活動の促進を図る。	→	定年延長のや生活様式の多様化などの要因などから老人クラブに加入する高齢者は減少している。 元気な高齢者が地域での見守り活動など社会奉仕活動への参加がますます求められており、老人クラブへの加入促進を図る必要がある。
3	いきいき活動外出支援	いきいき活動外出支援	高齢者団体が実施する研修、視察、ボランティア活動等の外出に対し、借上バスの費用の一部を補助することで高齢者の社会参加の促進を図ります。	高齢施設課	5章1-3 P78	利用人数	人	5,744	5,726	6,801	6,840	6,840	①年々利用人数が増加しており、高齢者の社会参加を促進している。 ②年度途中から利用を1回に制限するなど予算の範囲内でより多くの高齢者に利用してもらう工夫をしている。	↗	拡充の可能性などを見極めて、事業の実施を検討する。

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

進捗度について ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。  
 ○ 25年度計画値を概ね達成(計画目標に対する達成率:90%~100%未満)  
 △ 達成率が目標値に未達成(計画目標に対する達成率:50%~90%未満)

27年度に向けての方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画(24~26年度)			①24~25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	現計画(実績等)を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容			
								24年度		25年度				26年度		
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標	
4	ことぶき大学の運営	ことぶき大学事業	高齢者が知識や技術を習得し、仲間づくりや社会活動への参加を通じ、豊かで充実した生活が送れるよう、学習と活動の場を提供します。	高齢福祉課	5章1-4 P78	入学者数	人	240	187	240	179	210	→	学科、内容、定員、方針等や指定管理者の条件など、引き続き検討し、平成27年度の指定管理の公募に反映させる。		
								達成率	77.9%		74.6%					
								進捗度	△		△					
6	スポーツ・レクリエーションの振興	高齢者スポーツ広場事業	スポーツ・レクリエーションを通じ、健康づくり、仲間づくりを進めるため、多くの高齢者がスポーツ・レクリエーション活動に参加できるように、高齢者スポーツ広場の整備などにより活動の場の確保に努めます。	高齢施設課	5章1-6 P79	利用人数	人	20,712	19,234	19,234	19,265	19,265	→	引き続き、市未利用地の暫定活用である高齢者スポーツ広場を維持管理していく。		
								達成率	92.9%		100.2%					
								進捗度	○		☆					
7	全国健康福祉祭参加事業	全国健康福祉祭参加事業	高齢者のスポーツの祭典である全国健康福祉祭に千葉県選手団を派遣することで、健康の保持・増進、社会参加や生きがいがづくりを進めます。	高齢福祉課	5章1-7 P79	参加者数	人	146	78	170	122	181	→	引き続き、全国健康福祉祭へ千葉県選手団を派遣する。		
								達成率	53.4%		71.8%					
								進捗度	△		△					
8	世代間交流の促進	老人福祉センター管理運営費	高齢者の豊富な知識や経験を、老人クラブやことぶき大学の活動等を通じて、若い世代に伝えます。保育所や高齢者施設等で、高齢者と子ども達の交流事業を実施します。子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、小学生を対象として、放課後や週末等に小学校の施設等を利用して、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行っておりますが、この中で、子どもたちと高齢者の交流を進めます。	高齢福祉課	5章1-8 P79	参加者数	人	86	67	80	91	63	→	ことぶき大学については、学科、内容、定員、方針等や指定管理者の条件など、引き続き検討し、平成27年度の指定管理の公募に反映させる。 また、老人クラブの活動の一つとして、セーフティーウォッチャーなど子どもの見守り活動も行っていることから、引き続き活動を支援していく。		
								達成率	77.9%		113.8%					
								進捗度	△		☆					
					高齢者が豊富な知識や経験を、老人クラブやことぶき大学の活動等を通じて、若い世代に伝えます。保育所や高齢者施設等で、高齢者と子ども達の交流事業を実施します。子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、小学生を対象として、放課後や週末等に小学校の施設等を利用して、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行っておりますが、この中で、子どもたちと高齢者の交流を進めます。	高齢施設課	5章1-8 P79	参加人数	人	5,246	5,587	5,587	5,402	5,587	→	引き続き、いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、高齢者と小中学生が一緒に学習や工作を行う世代間交流事業を実施し、概ね計画を達成した。 ②引き続き、いきいきプラザ・いきいきセンターにおいて、高齢者と小中学生が一緒に学習や工作を行う世代間交流事業を実施する。
										達成率	106.5%		96.7%			
										進捗度	☆		○			

千葉市高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

進捗度について

- ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。
- 25年度計画値を概ね達成（計画目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%～90%未満）

27年度に向けての方向性

- ↗ 拡充 → 現状維持
- ↘ 縮小 × 廃止

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
8	世代間交流の促進		高齢者の豊富な知識や経験を、老人クラブやことぶき大学の活動等を通じて、若い世代に伝えます。保育所や高齢者施設等で、高齢者と子ども達の交流事業を実施します。 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、小学生を対象として、放課後や週末等に小学校の施設等を利用して、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行っておりますが、この中で、子どもたちと高齢者の交流を進めます。	保育運営課	5章1-8 P79	施設数	カ所	116	116	123	123	131	①施設の増加と共に実施施設を増やし参加する機会を増やすことが出来た。 ②新規園8園を加え、131保育所（園）で世代間交流、高齢者交流、育児講座として実施予定	→	保育所（園）や高齢者施設での交流を千葉市内の公立保育所、民間保育園で引き続き行っていく。
								達成率	100.0%		100.0%				
								進捗度	☆		☆				
9	高齢者学級・講座の充実	老人福祉センター管理運営費	いきいきプラザ・いきいきセンターでは、絵手紙、陶芸、健康体操などの福祉講座の充実を図ります。公民館や生涯学習センターでは、学習需要や社会の変化に対応して、高齢者を対象に、仲間づくりや社会参加活動の促進につながる各種事業を実施します。	高齢施設課	5章1-9 P79	参加人数	人	45,759	45,502	45,759	45,830	45,830	①いきいきプラザ・いきいきセンターでは、絵手紙、陶芸、健康体操などの福祉講座を実施し、概ね計画を達成した。 ②利用者ニーズを踏まえ、引き続きいきいきプラザ・いきいきセンターで、多様な福祉講座を実施する。	→	引き続き、いきいきプラザ・いきいきセンターの指定管理業務として、絵手紙、陶芸、健康体操などの福祉講座の実施を検討する。
								達成率	99.4%		100.2%				
								進捗度	—		—				
10	ボランティア活動の促進	千葉市社会福祉協議会補助金（地域ぐるみ福祉ネットワーク事業）	千葉市社会福祉協議会のボランティアセンターでは、幅広い市民のボランティア活動への積極的な参加を促すため、情報の提供や講座を開催し、ボランティアの育成を図ります。また、ボランティア活動の活動施設や書籍等の貸出しを行い、ボランティア活動を行う人を支援します。	地域福祉課	5章1-10 P79	ボランティア登録者数	人	—	9,557	—	9,511	9,250	①【各種ボランティア講座】 延べ846人の受講者にボランティア活動のきっかけづくりができ、ボランティアの育成を図ることができた。 ア ボランティア活動啓発講座 開催日数：56日、受講者：116人 イ ボランティア入門講座 開催日数：119日、受講者：541人 ウ ボランティア養成講座 開催日数：34日、受講者：216人  【情報の提供】 ボランティア募集情報をホームページや情報紙により提供しボランティア活動への参加の促進を図った。 ア ホームページ閲覧件数：30,620件 イ 情報紙の発行：18回（年9回）  【活動施設の貸出】 ボランティアグループに活動施設を貸出し、活動の支援を図ったが、稼働率は低かった。 ア 市ボランティアセンター 稼働率：48% イ 区ボランティアセンター 稼働率：33%  ② 各種ボランティア講座を開催しボランティアの育成を図ることともに、ボランティア活動情報の提供や活動施設の貸出しを行い、ボランティア活動を行う人を支援する。	↗	市民が興味を抱くボランティア講座を開催し、多種多様なボランティアを育成していく。ボランティアをする側のニーズを把握し、情報の収集、発信に努める。活動施設の稼働率向上のため、利用団体等にアンケートを実施し、改善点を把握していく。
								達成率	—		—				
								進捗度	☆		☆				
11	シニア世代地域活動支援セミナー	シニア世代地域活動支援セミナー	シニア世代の人々が培ってきた豊かな知識や経験を、ボランティア活動等の地域活動にいかしてもらおうことを目的に、セミナーを開催します。	市民自治推進課	5章1-11 P79	参加者数	人	40	46	40	41	40	①市内主要企業の定年退職者等への周知も実施したが、参加者数は伸び悩んでいる。 ②セミナーの内容の見直しなど、シニア世代が関心を示す方を検討する。（平成26年度より、市民活動支援センターの指定管理業務に含むこととした。）	→	シニア世代が関心を示すセミナーを開催する。
								達成率	115.0%		102.5%				
								進捗度	—		—				
12	ボランティアデータベースの運用	千葉市ボランティア情報「ちばばら」	ボランティア活動の活性化を図るため、市、千葉市国際交流協会、千葉市ボランティアセンター及びちばばら生涯学習ボランティアセンターが保有するボランティア関連情報を集約し、情報提供します。	市民自治推進課	5章1-12 P79	アクセス数	件	12,000	14,066	15,000	18,585	19,000	①平成25年度に機能強化を行い、利用しやすい環境を整えた結果、システムへのアクセス数も増加。 ②引き続き効果的な周知を行う。	↗	引き続き「ちばばら」の周知を行い、更なるアクセス数向上を図る。
								達成率	117.2%		123.9%				
								進捗度	—		—				

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

進捗度について

- ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。
- 25年度計画値を概ね達成（計画目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%～90%未満）

27年度に向けての方向性

- ↗ 拡充 → 現状維持
- ↘ 縮小 × 廃止

(2) 高齢者の就労支援

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			現計画（24～26年度） ①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画（27～29年度） 現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
1	千葉県シルバー人材センターの充実	シルバー人材センター運営補助事業	高齢者が豊かな経験と能力を発揮し、働くことにより、生きがい高める機会を確保できるよう、千葉県シルバー人材センターの運営を支援します。 また、市内の企業に対して、シルバー人材センターの事業内容等のPRを積極的に行い、契約件数・契約金額の増加を図るとともに、会員数の増加を目指すなど組織の強化に努めます。	高齢福祉課	5章2-1 P80	会員数	人	3,000	2,967	3,200	2,795	3,200	→	会員に対する就業機会の提供を行い、就業率を向上させるほか、会員の増加により、高齢者の健康維持、社会参加を促す。 また、生活支援サービスとして、ワンコインサービスの導入向け、引き続き検討する。	
								達成率	98.9%	△	△	△			
								進捗度	○	△	△	△			

第6章 尊厳ある暮らしの支援

(1) 認知症高齢者への支援

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			現計画（24～26年度） ①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画（27～29年度） 現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
1	認知症介護研修	認知症介護研修事業	認知症の方の介護者等を対象に研修を行い、介護方法等の知識・技術の習得や介護者同士の交流を図るとともに、地域における認知症に関する理解を促します。	高齢福祉課	6章1-1 P87	参加延べ人数	人	320	354	320	361	320	↗	認知症への関心が高まっていることから、地域における認知症に関する知識や理解の促進を図るため、内容を検討するとともに、周知を図っていく。	
								達成率	110.6%	△	112.8%	△			
								進捗度	☆	△	☆	△			
3	徘徊高齢者位置情報システム事業	徘徊高齢者位置情報システム	認知症高齢者が所在不明となった場合、あらかじめ所持させている端末機により位置を確認することで早期発見・早期保護を図ります。	高齢福祉課	6章1-3 P87	登録者数	人	45	47	50	39		↗	認知症になっても住み慣れた自宅での生活が継続できるように支援するためには、検索精度や利用しやすいシステムであることが重要である。事業のPRとともに引き続き効果的なシステムとなるよう情報収集に努める。	
								達成率	104.4%	△	78.0%	△			
								進捗度	☆	△	△	△			
4	ちば認知症相談コールセンター事業	ちば認知症相談コールセンター運営事業	認知症の方やその家族が気軽に利用できる相談電話を千葉県と共同で運営します。また、予約制の面接専門相談を行います。	高齢福祉課	6章1-4 P87	電話及び面接相談件数	件	300	336	300	272		↗	認知症の発症及び介護に不安を持つ高齢者は多いことから早期に気軽に相談できる場として重要であり、引き続き認知症の人と家族の会と協力しながら周知に努める。	
								達成率	112.0%	△	90.7%	△			
								進捗度	☆	△	○	△			
5	認知症サポート医養成	認知症サポート医養成研修事業	認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関やあんしんケアセンター等との連携の推進役となる認知症サポート医を養成し、認知症の発症初期から状況に応じて、医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制の構築を図ります。	高齢福祉課	6章1-5 P87	延べ養成人数	人	14	14	15	15	16	→	引き続き養成研修を実施し、地域での医療と介護が一体となった認知症の人への支援体制を構築していく。	
								達成率	100.0%	△	100.0%	△			
								進捗度	☆	△	☆	△			
6	かかりつけ医認知症対応力向上	かかりつけ医認知症対応力向上研修	かかりつけ医に対し、適正な認知症診断の知識・技術等の習得を目的とした研修を実施することにより、認知症を早期に発見し、専門医へつなぐことで、地域と医療が連携した認知症の人への支援体制をつくり出します。	高齢福祉課	6章1-6 P88	修了者延べ数	人	170	173	180	182	200	→	引き続き研修を実施し、修了者を増やすことで認知症への支援体制を構築していく。	
								達成率	101.8%	△	101.1%	△			
								進捗度	☆	△	☆	△			



千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

**進捗度について**

- ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。
- 25年度計画値を概ね達成（計画目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 達成率が目標値に未達成（計画目標に対する達成率：50%～90%未満）

**27年度に向けての方向性**

- ↗ 拡充 → 現状維持
- ↘ 縮小 × 廃止

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
7	キャラバンメイト養成	キャラバンメイト養成研修	認知症に関する正しい知識をもち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成することのできるキャラバン・メイトを養成します。	高齢福祉課	6章1-7 P88	キャラバンメイト数	人	30	14	30	42	30	①県の養成研修への受講推薦のほか、25年度には市独自で養成し、メイト数が増えたが、なかにはサポーター養成講座を実施しない不活動メイトもいる。 ②市独自でのメイト養成を引き続き実施しメイト数を増やすとともに、必要に応じて不活動メイトにも講座実施の働きかけを行う。	→	引き続き養成研修を実施し、メイト数の増加を図る。養成研修の受講にあたっては、サポーター養成講座の実施意思を前提とすることをあらためて周知し、メイト数の増加がサポーター数の増加につながるようしていく。
8	認知症サポーター養成	認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識をもち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成することにより、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりを推進します。	高齢福祉課	6章1-8 P88	認知症サポーター登録数	人	3,000	2,741	3,000	4,073	3,000	①振り込み詐欺等の報道を通して認知症に対する関心が高まっており、地域団体・企業等からの認知症サポーター養成講座開催依頼が増加している。 ②徘徊高齢者の保護等の報道もあり4月当初よりサポーター養成講座の開催依頼が急増しているが、更に職員向けの講座や他局他課とも協働して養成講座を開催する。また子ども向けの企画も実施する。	↗	平成29年度までに認知症サポーターとなる市民を45,000人以上養成することを目標とし、認知症に対する知識の普及啓発、認知症の方や家族への支援を図っていく。
11	認知症疾患医療センター	認知症疾患医療センター運営事業	認知症の専門的医療の提供体制を強化するため、千葉大学医学部付属病院を指定し、鑑別診断、専門医療相談、合併症対応、医療情報提供を行う認知症疾患医療センターを院内へ設置します。	高齢福祉課	6章1-11 P88	設置数	か所	1	1	1	1	1	①平成24年度に開設したが周知も進み、認知症に関する鑑別診断、専門医療相談、周辺症状と身体合併症に関する急性期治療、地域連携等の外来診療、鑑別診断、電話相談、面接相談等の件数は増加している。 ②認知症疾患医療連携協議会の開催を通し、認知症ケアパスの作成など、早期に認知症を発見し治療に結びつくような施策を推進していく。	↗	認知症初期集中支援チームなど関係機関との連携を深め、認知症疾患の保健医療水準の向上に資する取組みを推進していく。

(2) 高齢者擁護

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
1	高齢者虐待防止連絡会の開催	高齢者虐待防止事業	行政及び関係団体が連携を強化し、高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止に努めます。	高齢福祉課	6章2-1 P89	定期的な開催	回	1	1	1	1	1	①H24、H25年度は各1回開催し、高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止に努めた。 ②引き続き、H26年度は1回開催する。	→	毎年1回開催し、行政及び関係団体の連携を強化したい。
2	高齢者虐待防止マニュアルの充実	高齢者虐待防止事業	高齢者虐待の実態を調査し、必要に応じて、高齢者虐待防止マニュアルを充実させ、関係機関等に配布し、高齢者虐待防止に対する周知を図ります。また、施設等については、指導・監督を行います。	地域福祉課	6章2-2 P89	実地指導件数	事業所	89	86	87	84	92	①実地指導時に、介護保険施設等での高齢者虐待防止研修の状況を確認している。 ②引き続き実地指導時に、介護保険施設等での高齢者虐待防止研修の状況を確認し指導・監督を行う。	→	適正な介護サービス確保のため、計画通り実地指導を行う。

第7章 住みなれた地域での生活支援

(1) あんしんケアセンター

NO	事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画（24～26年度）			①24～25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	現計画（実績等）を踏まえて、次期計画策定期間の取組・課題・検討事項等具体的な取組内容		
								24年度		25年度				26年度	
								数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
1	あんしんケアセンター運営	千葉県あんしんケアセンター運営事業	地域における総合的な相談窓口としてあんしんケアセンターを運営し、介護予防マネジメントを行うとともに、保健福祉サービスをはじめ様々な生活支援サービスとの調整等を行ないます。地域包括ケアの中心的な役割を担うあんしんケアセンターを12か所から24か所に増設し、ネットワークの構築を進めるほか、機能の充実を図ります。	高齢福祉課	7章1-1 P97	あんしんケアセンター設置か所	か所	24	24	24	24	24	①平成24年10月に計12か所から24か所に増設し各3～5センター体制とた。平成26年4月に包括三職種の配置人数を20人増の102人とし、様々な周知・支援に努めたことで相談件数等も増加した。また、地域ケア会議や事例検討会、モデル事業として多職種連携会議などを通じ、地域の保健・福祉・医療等の関係機関と顔が見えるネットワークの構築を図った。 ②26年度は多職種連携会議を各区で開催し、医療・保健・福祉のネットワークの更なる強化を図っていく。	↗	あんしんケアセンターが地域で認識され順調に活動の場を広げるのに伴い、介護保険制度に係ることのみならず、地域で自主的に活動する団体の支援やリーダーとなる人材の育成など期待されている。自宅訪問等の手厚くきめ細やかな相談対応が第一の業務であり地域に根ざした支援を行うため、今後の高齢者人口の増加等を踏まえ、包括三職種の増員とともにあんしんケアセンターの増設を検討していく。

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画） 進捗状況

進捗度について ☆ 計画目標値を達成・もしくは上回っていて着実に計画が進んでいる。  
 ○ 25年度計画値を概ね達成(計画目標に対する達成率:90%~100%未満)  
 △ 達成率が目標値に未達成(計画目標に対する達成率:50%~90%未満)  
 ◆ 達成率が目標値に未達成(計画目標に対する達成率:50%未満)

27年度に向けての方向性  
 ↗ 拡充 → 現状維持  
 ↘ 縮小 × 廃止

(3) ひとり暮らし高齢者等への支援

事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画(24~26年度)			①24~25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画(27~29年度)		
							24年度		25年度				26年度	
							数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
9 地域見守り活動支援	地域見守り活動支援	ひとり暮らし等の高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、社会福祉法人等が行う地域見守り活動支援に係る経費について、補助金を交付します。	高齢福祉課	7章3-9 P99	団体数	団体	10	10	20	12	20	①地域での見守り活動を行う団体は年々増加しており、見守り活動の必要性、重要性が認識されているものと思われる。 ②見守り活動支援事業を継続し、団体の立ち上げ支援を行うとともに、事例集を作成し、活動を開始した団体をフォローすることで、見守り活動の充実を図る。	↗	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、また、孤立死・孤独死に至ることがないよう地域で支え合う仕組みが急務であり、見守り活動を行う団体を増やすとともに、活動を開始した団体をフォローすることで、見守りの充実を図る。
9 高齢者見守りネットワーク構築の推進	孤独死防止通報制度	ライフライン事業者、新聞配達事業者、宅配事業者等の協力により、日常業務の中で発見した高齢者宅等の異変を区に通報してもらうとともに、その後民生委員や市職員等が現地に出向き安否確認を行います。	地域福祉課	7章3-9 P99	協定締結事業者数	事業者				16	17	①ライフライン事業者、新聞配達事業者、宅配事業者等と協定を締結し、高齢者宅等の異変を区に通報してもらい、その後民生委員や市職員等が安否確認を行う「孤独死防止通報制度」を平成25年7月に開始した。また、12月には、協力事業者を集め、本制度に関する連絡会議を開催した。 ②平成26年7月現在、16事業者と協定を締結しており、今後も段階的に協力事業者を増やしていく。また、今年度も事業者連絡会議を開催する。	↗	今後も段階的に協力事業者を増やしていき、制度の充実を図る。
18 地域のつどい・ふれあい入浴事業	地域のつどい・ふれあい入浴事業 ※高齢者のみ。小学生、乳幼児は生活衛生課所管分を除く。	高齢者同士や多様な世代の市民が、コミュニケーションを深め、交流が図れるよう公衆浴場の利用に対し助成を行います。	高齢福祉課	7章3-18 P99	高齢者の利用者数	人	87,360	57,387	87,360	63,305	66,386	①利用日を拡大するほか、市民への周知もあり利用者は年々増加しており、高齢者の健康増進及び外出支援への効果が現れている。しかし、廃業する銭湯や区によっては銭湯がないなど、ごく一部の利用者だけの利用となっている。 ②高齢者の健康増進、外出促進の観点から、利用拡大に向け、浴場組合と市民への周知を行っている。	→	利用日を拡大するほか、市民への周知もあり利用者は年々増加しており、高齢者の健康増進及び外出支援への効果が現れている。しかし、廃業する銭湯や区によっては銭湯がないなど、ごく一部の利用者だけの利用となっており、他の事業と調整を図る必要がある。

(4) 支え合いの体制づくりへの支援

事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画(24~26年度)			①24~25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画(27~29年度)		
							24年度		25年度				26年度	
							数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
3 千葉市民活動支援センター((旧)市民活動センター)	千葉市民活動支援センター	ボランティア活動やNPO活動に関する情報提供や活動場所の提供、活動に関する相談などを行います。	市民自治推進課	7章4-3 P100	利用者数	人	16,000	16,644	16,000	15,466	16,000	①ボランティアやNPOなど、市民の主体的かつ自発的な活動である市民公益活動を促進するため、市民活力創造プラザを運営してきたが、利用者数は伸び悩んでいる。 ②公の施設として、指定管理者制度を導入。	↗	指定管理者制度を導入し、市民公益活動全般の情報・サービスを提供。活動の拠点として、利用しやすい環境を整える。

(5) 防犯・防災対策の推進

事業名	所管課の事業名	事業内容	担当課	5期計画での位置づけ	数値目標・単位		現計画(24~26年度)			①24~25年度の取組に対する評価 ②26年度の具体的な取組	27年度に向けての方向性	次期計画(27~29年度)		
							24年度		25年度				26年度	
							数値目標	実績	数値目標				実績	数値目標
7 ちばし安全・安心メール	ちばし安全・安心メールの充実	防犯・防災に関する情報を、電子メールにより市民等に提供し、市民の防犯防災に対する意識向上を図ります。	市民サービス防災対策課	7章5-7 P102	登録者数	人	42,000	41,314	43,000	42,280	44,500	①様々な周知を行うことで、登録者が増加した。 ②平成26年度末までに44,500人の登録を目標としているため、引き続き市民への周知を図り、実施していく。	→	引き続き、市民への周知を図り登録者数の増加を目指していく。
10 消費者被害の防止	くらしの巡回講座	悪質商法などから高齢者を守るため、高齢者や高齢者に接する機会が多い方々に対し、くらしの巡回講座を実施し、悪質商法の手口や対処方法などの理解の促進を図ります。	消費生活センター	7章5-10 P102	くらしの巡回講座(高齢者)	人	660	2,008	2,010	2,912	2,930	①H24 2,008人、H25 2,912人と増加している。 ②H26の目標は、2,930人である。	↗	平成28年度の目標については、消費生活基本計画では700人であったが、平成24年度から実績が大きく上回っている。現段階としては拡充していきたいと考えている。